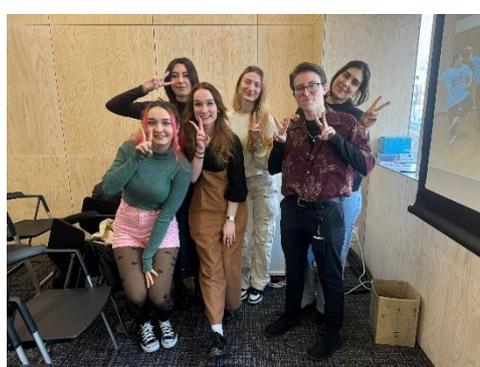


日本での留学生の生活

アンカラ大学

ウズンヅルカン・エジェ

日本に来てからあつという間に一年が経ちました。生まれ育った国の外の世界を見ることは、私にとって常に夢のようなものでした。一年間だけでも日本を見ること、体験することは私にとって非常に重要でした。たくさんの友達を作り、多くの景色を見て、何百もの思い出を作りました。出会ったすべての人々、美しい景色を心に刻みました。富士山に出会い、元旦の朝に高尾山に登り、友達と日の出を見ました。祭りに参加し、公園で花見して、たくさんの展覧会に行き、おいしい食べ物をたくさん食べ、旅行し、日の入りを見ました。数えきれないほどの美しい思い出を作りました。



一年はあつという間に過ぎてしまいましたが、この一年は私の人生に多くのことをもたらしてくれました。日本語を学ぶだけでなく、ここでの生活の一部になることができました。他の国から来たすべての友達から学んだ歌、料理、本、作家、それらすべてを自分の国に持ち帰り、思い出として残すことができました。働いた職場でたくさんの友達に出会いました。彼らのおかげで、新しい日本語の単語や表現をたくさん学びました。働いている間、いつも「元気？学校はどう？ご飯食べてる？」などと質問して、私のことを気にかけてくれた古川さんも、私にとってとても大切な人になりました。



日本での生活には困難な時もあり、帰りたと思ったこともありました。でも、最後までここに留まることができたことをとても嬉しく思います。日本を一年間で知り、四季を通じてその異なる顔を見ました。秋の香り、冬の寒さ、春の美しさ、夏の暑さ。それぞれと出会い、多くの思い出を作りました。祭りに参加し、公園を散策し、見られるものはすべて見ようと思いました。この一年でたくさん泣き、たくさん笑い、たくさん楽しみ、たくさん学びました。

信じられないけれど、別れの時が来ました。去年の今頃、自宅で日本がどんなところか夢見ていたのに、今は人々やこの国にどうやって別れを告げるかを考えています。家に帰る喜びを感じる一方で、この一年で出会った全ての人々に別れを告げ、もう一つの家を離れる悲しみを感じています。

ここまで来るのを助けてくれた、毎日何かを教えてくれた先生方に心から感謝します。先生方のおかげでこの大学を卒業することができました。ここで出会った友達、思い出の中に私を入れてくれて、本当にありがとうございます。皆さんと過ごした一年で、忘れられない素晴らしい思い出を作りました。ここで出会った皆さんの顔や声を忘れることはできないと思います。皆さん、本当にありがとうございました。この広い宇宙でまた皆さんと再会できることを願っています。

